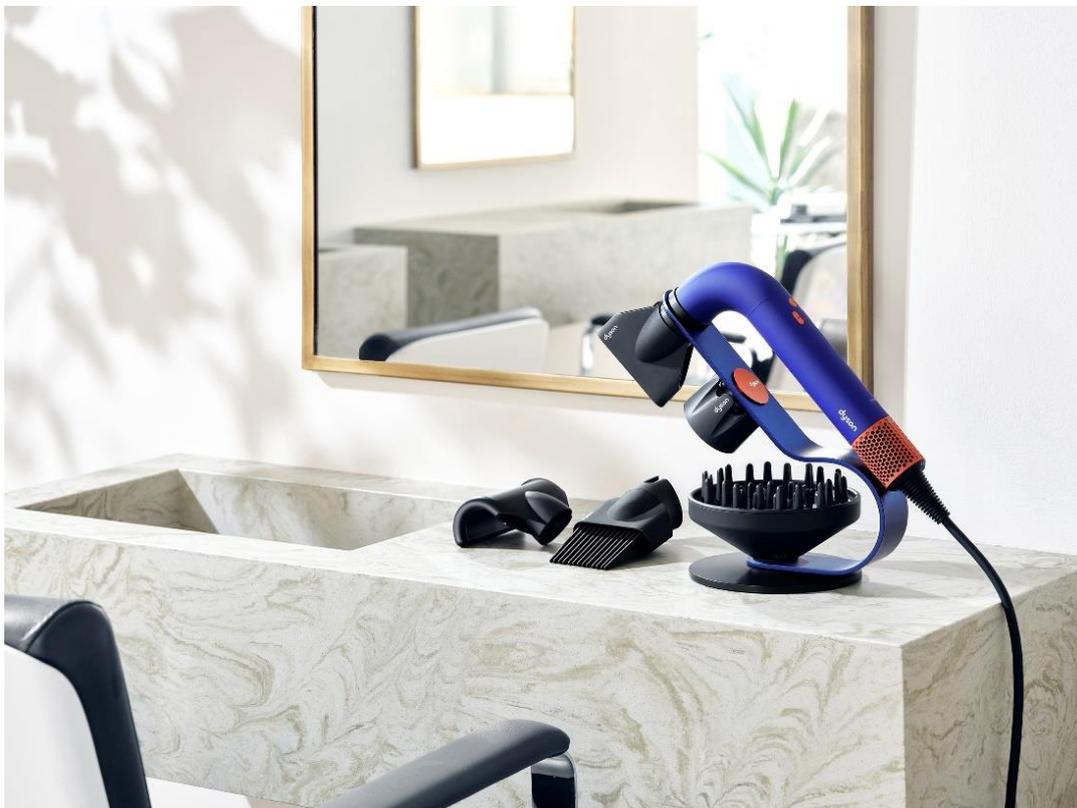


プロのスタイリストのための「Dyson Supersonic r™ ヘアドライヤー プロモデル」を発表

より小さく、軽く。*1 熱ダメージから髪を守りながら乾かせる。*2

美容師、ヘアスタイリスト向け限定で登場



*本資料は、米国 ニューヨークで2024年2月8日11:00（現地時間）に発表されたプレスリリースの日本語抄訳です

ダイソンのエンジニアは、ビューティーにおける革新の限界に挑み続け、本日、ニューヨーク ファッションウィークのバックステージで、全く新しいヘアドライヤーを発表しました。

Dyson Supersonic r™ ヘアドライヤー プロモデルは、ダイソンで最も軽く、最も小さく、*1 最も精密なスタイリングツールです。*3 新技術のヒーター、Dyson Hyperdymium™ モーター、そして各アタッチメントに搭載された RFID (Radio Frequency Identification) センサーがヘアドライヤーと通信し、取り付けられたアタッチメントを瞬時に認識して最適な風速と風温に自動的に調節し、パフォーマンスを最適化します。お好みに合わせて設定を変更することも可能です。

ダイソンのエンジニアに課せられたのは、パワフルな精度を備えた最小のヘアドライヤーを作ることでした。そのため、Dyson Supersonic™ のコアテクノロジー、特にヒーターテクノロジー、モーター性能、そしてアタッチメントをさらに進化させ、プロフェッショナルのための高精度を実現する、まったく新しいヘアドライヤーを開発しました。*3 Dyson Supersonic r™ ヘアドライヤー プロモデルは、30%小型化、20%軽量化され、操作性が向上しました。*1

秋冬シーズンのニューヨーク、ロンドン、ミラノ、パリのファッションウィークでは、一流のセッションスタイリストが Dyson Supersonic r™ ヘアドライヤー プロモデルを使用してヘアスタイリングを行います。

業界全体が抱える問題

2017年以來、696人のスタイリストを調査・インタビューし、彼らの環境、習慣、ニーズを把握してきました。ダイソンのエンジニアは、直面する課題を探り、対処しました。スタイリストは、1日におよそ4~16人のお客様を担当し、1人のお客様に対して平均30~60分のスタイリングを行います。また、スタイリストの間では、手根管症候群のように歪みによる怪我が非常に多く見られます。このような背景から、Dyson Supersonic r™ ヘアドライヤー プロモデルは、プロのスタイリストの方々に、優れたスタイリング体験と仕上がりを提供するために、現場の需要に対応できる俊敏で適応性の高いツールを提供することが重要であると考え、開発されました。

"Dyson Supersonic r™ ヘアドライヤー プロモデルは、私たちが培ってきた技術と知識を基に開発され、あらゆる髪質の方に、過度な熱によるダメージを与えずに、速乾性とスタイリング効果を提供します。本機のために開発された新しい流線形ヒーターテクノロジーは世界初であり、高速モーターと組み合わせることで、軽量のフォームファクターと高速で正確なエアフローを実現しています。"

ギャビン・ギャリガン

ダイソン ビューティー シニアデザイン&ディベロップメントマネージャー

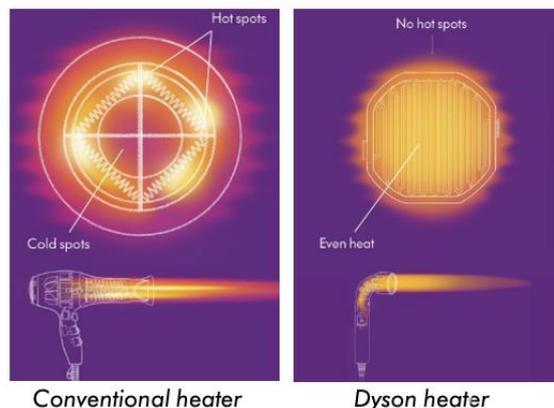
テクノロジーを深掘した

人間工学に基づいた新フォーマット

Dyson Supersonic r™ ヘアドライヤー プロモデルは、ユニークな形状をしています。ヘアスプレー1本分以下のわずか325gの軽さで、*1手がとどきにくい部分にも楽にリーチできる操作性と快適性を実現します。

流線形のヒーターで均一に加熱

ダイソン独自の新しいヒーターテクノロジーは、小型で軽量、そして驚くほど高出力です。従来のヒーターは、電子機器によく使われるマイカ（雲母）ボードにオープンワイヤーを巻きつけているため、気流にホットスポットとコールドスポットが発生していました。ダイソンのヘアサイエンティストは、髪の健康を維持するために、熱によるダメージを防ぐ方法を詳細に研究しました。ダイソンは、スタイルを作るだけでなく、髪を健康に保つためのツールを開発することを目指しています。



ダイソンの流線形のヒーター技術は、ヘアドライヤーでは初となるダイソンのカーブヒーターで、左右対称のホイルが吊り下げられた軌道を形成しています。この曲面ヒーターは、風量と性能への影響を最小限に抑えながら、気流に最大限触れることで効率性を発揮します。このユニークなカーブを通る高圧空気は、ホットスポットを発生させることなく、気流をより均一に加熱します。アタッチメントを使用しても温度が均一になり、スタイリング時の温度も高くなり、過度な熱によるダメージを与えずに髪をすばやく乾かすことができます。

Dyson Supersonic™ヘアドライヤー プロモデルは、最適なヒーター性能を実現しながらも、重量と形のバランスを取ることが開発の中心となりました。新しい形状のため、エンジニアはダイソンのヒーターテクノロジーを再構築し、サイズを縮小しながらも、スタイリストの方々の共通の不満である、腕の痛み、髪のくすみ、極度の熱ダメージに対して、より軽くて機敏なツールを提供できるよう、性能を向上させることに努めました。その結果、小型でパワーのあるヒーターが誕生しました。28個の99.9%銅マイクロフィンを使用し、熱を均一に気流に伝えることで、スタイリングの精度を高め、まとまりのある髪に仕上げます。*3

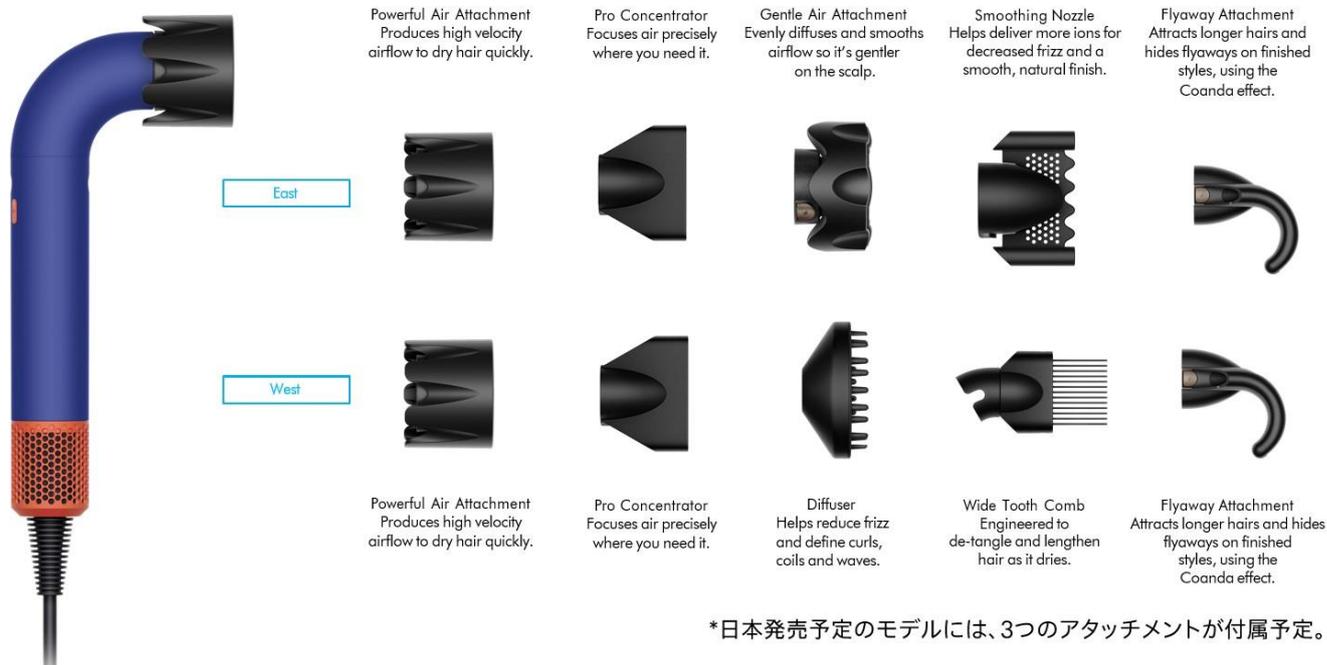
インテリジェント・ヒートコントロール

ダイソンの他のヘアケア製品同様、Dyson Supersonic™ヘアドライヤー プロモデルにもインテリジェント・ヒートコントロールが搭載されています。ガラス球サーミスターが1秒間に最大30回、風の温度を測定し、熱によるダメージを防ぎ、*2髪本来のツヤを守ります。

"ヘアドライヤーで感じたことのないすばやい温度変化"

イリネル・デ・レオン
セレブリティ・スタイリスト

Meet the attachments and offerings
East & West attachment overview



最適化された RFID アタッチメント

Dyson Supersonic r™ ヘアドライヤー プロモデルは、各アタッチメントに内蔵された RFID (Radio Frequency Identification) センサーがヘアドライヤーと通信し、モーターとヒーターを最適な風量と温度に自動調整します。この機能により、あらゆる髪質やスタイルに合わせて直感的にツールを調整することができます。例えば、ディフューザーは弱風・低温に設定され、カールパターンを乱すことなくちぢれを抑え、カールを強調します。一方、速乾ツールでは、コントロールされたエアフローを維持しながら、最大パワーの熱とフローで乾かす時間を最小限に抑えます。

“プロのスタイリストによる徹底的な試用、研究、洞察が、Dyson Supersonic r™ ヘアドライヤー プロモデルの直感的な調整に反映されました。このような開発の旅により、ダイソンはプロフェッショナルの皆様へ、現場の需要に応え、優れたスタイリング体験と仕上がりを提供する、俊敏で適応力のあるツールを提供することができました。”

エイミー・ジョンソン
ヘアケア アーティストリー グローバルヘッド

アタッチメントには、以前に使用した設定を記憶する機能もあり、調整に必要な時間を短縮できます。お好みに応じて、髪質やニーズに合わせて設定をカスタマイズすることも可能です。

Dyson Supersonic r™ ヘアドライヤー プロモデルは、3段階の正確な風速設定と、冷風/コールドショットを含む4つの風温設定を備えています。スタイリストがスタイリングセッションを中断することなく、簡単にツールを使用できるように設計されています。

再設計された深層ろ過フィルターはお手入れの頻度を抑えることができます。*3 3D メッシュが汚染物質を捕らえてパフォーマンスを維持します。

*Dyson Supersonic r™ ヘアドライヤー プロモデルの日本での発売時期については未定です。製品仕様は変更になる場合があります。

*1 2024年2月時点で販売中のダイソンのヘアドライヤーとの比較。本体のみの重量に基づく。

*2 過度な熱によるダメージ。

*3 Dyson Supersonic Shine ヘアドライヤーとの比較。

ダイソンについて

ダイソンは、シンガポール、英国、マレーシア、メキシコ、中国、ポーランド、フィリピンにエンジニアリング、研究、開発、製造、テスト事業を展開するグローバルなリサーチ&テクノロジー企業です。英国のコーチハウスからスタートしたダイソンは、1993年の設立以来、一貫して成長を続けています。現在では、シンガポールの St James Power Station にグローバル本社を構え、英国には700エーカーを超える広さの Malmesbury と Hullavington に2つのテクノロジーキャンパスを有しています。1993年以来、ダイソンは Wiltshire のオフィスと研究所に10億ポンド以上を投資し、ダイソンのテクノロジーの初期段階の研究、設計、開発を進めている。ダイソンは現在も家族経営で、6,000人の強力なエンジニアリングチームを含む14,000人の従業員を全世界で雇用している。ダイソンは、世界85の市場において、250以上のダイソンデモショップで製品を販売しているほか、先駆的なデジタルツールやバーチャル体験を通じてオンラインで製品を販売しています。

ダイソンは、革新的な製品や技術を開発するために27億5000万ポンドを投資し、エンジニア、科学者、ソフトウェア開発者からなるグローバルチームを編成し、固体電池セル、高速デジタルモーター、センシングおよびビジョンシステム、ロボティクス、機械学習技術、AI投資の開発に注力しています。また、ダイソンは、ビューティーポートフォリオ全体の研究・技術開発を拡大・加速させるために5億ポンドを投資しており、今後4年間で20の新しいビューティー製品を発売する予定です。あらゆる髪質に対応するための技術開発は、研究開発チームにとって引き続き重要な焦点であり、今回の投資によりダイソンは新たな研究スペースを設け、あらゆる髪質やダメージに対する理解を深めるとともに、ダイソンのビューティーテクノロジーのさらなる拡大を目指しています。

ダイソン インスティテュート オブ エンジニアリング アンド テクノロジー (<https://www.dysoninstitute.com/>)は、伝統的な大学のアカデミックな厳しさと、世界的なテクノロジー企業で製品や技術のプロジェクトに携わる実践的でリアルな経験を組み合わせた、エンジニアリング教育の新しいモデルです。ダイソンの156名の学部生エンジニアは、初日から給与が支払われ、授業料は無料です。学部生エンジニアの37%が女性であり、英国の工学系学部生コースの平均が21%であるのに対し、ダイソンでは37%が女性です。ダイソンインスティテュートは、教育だけでなく、ダイソンでのキャリアを加速させるきっかけを提供します。



ジェームズ ダイソン財団

(<https://www.jamesdysonfoundation.co.uk/news/the-science-of-sound.html>) は、意欲的なエンジニアの育成、エンジニアリング教育の支援、医療研究への投資を行う、2022年に設立された国際的な慈善団体です。これまでに1億4千万ポンド以上を慈善団体に寄付しています。



ジェームズ ダイソン アワード (<https://www.jamesdysonaward.org>) は、ダイソン財団が毎年開催しているデザインコンペティションで、デザインおよびエンジニアリングを専攻する学生を対象としています。2005年の開始以来、同賞は世界で390件の発明を支援し、その商業化を支援する資金を提供してきました。ジェームズ ダイソン アワードの過去の受賞者のうち70%が、フルタイムで発明に関する研究を続けています。



ダイソンファミリーは、2012年にダイソンファーマリング (<https://dysonfarming.com/>) を設立しました。2019年からカーボンニュートラルを実現し、リンカーンシャー、オックスフォードシャー、グロスターシャー、サマセットにまたがる36,000エーカーに及ぶ英国最大級の農業事業者です。英国の農業とカントリーサイドへの長期的な投資に焦点を当てた、他に類を見ない家族経営の企業です。持続可能な食糧生産、食糧安全保障、環境は、英国の健康と経済にとって不可欠です。農業がテクノロジーの革命を推進し、またその逆もしかりです。ダイソンファーマリングは、効率的でハイテクノロジーな農業と食品生産への新しいアプローチを開発しています。

